

戦争ってなに？



戦争とは

軍隊と軍隊とが兵器を用いて争うこと。特に、国家が他国に対し、自己の目的を達するために武力を行使する闘争状態。(以下略)

「デジタル大辞泉」小学館より



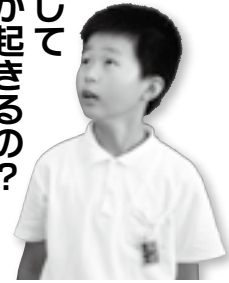
どうして戦争はいけないの？

第二次世界大戦では、各国の兵員や一般市民の死亡・行方不明を合わせて4千万人以上が犠牲になったとされています。犠牲者の死を悼んだ人たちの数まで考えれば、その数は計り知れません。



世界では、今でも多くの国と国が戦争をしています。また、同じ国の中で争う内戦や紛争も世界の各地で起きています。ほとんどの戦争は、周辺の国などから戦争をしないように止められていて、停戦中です。しかし、いつどのようなきっかけで争いに火がつくかは分かりません。

どうして戦争が起きるの？



歴史を振り返ってみると、戦争が起る原因はさまざまです。かつては資源や権力を巡る戦争が多く起きていましたが、現代に近づくにつれ、経済的なもの、宗教や文化などによる考え方の違いなどその原因は多様化しています。

わたしたち人類の歴史は、戦争の歴史と言っても過言ではないかも知れません。



松本純佳さん

戦争は、たくさんの方が死んでしまう残酷なものなのに、どうしてもやめないのだと思います。

ご飯が食べられなかったり、子どもでも働いて学校に行けなかったりした戦争中を考えると、今の日本は、幸せな国だと感じました。

でも、今も世界では戦争が起きていて、戦争が終わった国でも、残された地雷を踏んで死んだり、手足をなくしたりしている人もいます。戦争のために苦しみや悲しみを感じている人がいると思うと胸が痛みます。

平和

ってなんだと思う？

世界は今、平和だと思う？

いいえ

飢えに苦しんでいる人たちがいる

他の国では戦争が起きている

病気が広がっている国がある

何が「平和なこと」だと思う？

みんなが笑顔でいること

戦争がないこと

安らかなこと

のどかなこと

みんなが平等なこと

日本は今、平和だと思う？

いいえ

災害がたくさん起きて

原発事故が起きている

人を傷つける事件が起きている

必死で生きた津山での戦後

やがて、アメリカ軍がやって来たので、いくらか治安も落ち着きました。わたしたち家族は父親の帰りを待たないまま、日本に引き揚げることになりました。父親の両親が住む津山に戻り、食べていくために必死で農作業を手伝いました。そんな中でも勉強がたくて裸足で学校に通いました。当時は、わたしと同じような境遇の人が周りにたくさんいました。

しばらくして、父親からはがきが届きました。父親はシベリアに抑留されていたのです。終戦から2年後、父親と津山駅で再会できた時は、それまでの人生で最高の喜びでした。

本当の平和とは何か

戦争が終わり、空襲警報や召集令状を心配しなくてもよい生活を送れるだけで平和を感じる事ができました。日本から戦争がなくなると、平和な時代がやってきたようにも感じられます。しかし、今でも悲しい事件を知らせるニュースは後を絶ちません。

本当に平和な世の中というものがないものか、分かりますが、家族が引き裂かれることなく、人権が尊重される世の中。わたしたちの孫や、その後の世代がいつも笑顔で暮らせる世の中になってほしいと願っています。

インタビュー



福田元信さん(下高倉西)

終戦は平和への起点

戦争中の不安と悲しみ

わたしは第二次世界大戦中、日本統治時代の朝鮮(現在の韓国)で生まれ、終戦を迎える中学2年生まで朝鮮で生活しました。

戦争中は、空襲警報と歯科医だった父親がいつ召集されるかと、不安な日々を送っていました。しかし、ついに父親にも召集令状が届きました。父親が戦争に行つてからは層の不安と悲しみの日々でした。

終戦を迎えて

終戦を知らせる玉音放送を聞いた時、「命が助かった」と安堵感を抱いたことを覚えています。そして、これからわたし

わたしたちにとって平和ってなんだと思う？

